



I .平成26年度決算の概要

平成26年度 損益の状況

- コア業務粗利益は過去最高益を計上、コア業務純益は経費の増加により減益
- 経常利益、当期純利益は、信用コストの減少により過去最高益を計上

平成26年度決算（単体）

（単位：百万円）

	平成26年度	前年度比	増減率	平成25年度
コア業務粗利益（注1）	86,600	+439	+0.5%	86,161
資金利益	80,451	-23		80,474
役務取引等利益	5,024	+342		4,682
うち預り資産収益	1,827	-23		1,850
その他業務利益 （除：国債等債券関係損益）	1,124	+120		1,004
経費（△）	49,317	+1,121	+2.3%	48,196
人件費	26,599	+302		26,297
物件費	20,316	+633		19,683
税金	2,401	+186		2,215
コア業務純益（注2）	37,283	-681	-1.8%	37,964
信用コスト（△）①+②-③-④	-1,909	-5,659		3,750
一般貸倒引当金繰入額①	-	-1,185		1,185
不良債権処理額②	221	-3,806		4,027
貸倒引当金戻入益③	974	+974		-
償却債権取立益④	1,156	-306		1,462
有価証券関係損益	3,215	-4,805		8,020
国債等債券関係損益	2,101	-3,633		5,734
株式等関係損益	1,114	-1,171		2,285
その他の臨時損益	2,154	+856		1,298
経常利益	44,562	+1,029	+2.4%	43,533
特別損益	-1,208	+795		-2,003
税引前当期純利益	43,354	+1,825		41,529
当期純利益	26,497	+983	+3.9%	25,514
経常収益	107,076	-3,347	-3.0%	110,423
業務純益	39,384	-3,129	-7.4%	42,513

（注1）コア業務粗利益…国債等債券関係損益を除く「業務粗利益」

（注2）コア業務純益…コア業務粗利益－経費

主な増減要因等（前年度比）

コア業務粗利益…前年度比+439百万円

◎貸出関連の手数料収入が増加したことから役務取引等利益が増加

経費…前年度比+1,121百万円

経費の増加によりコア業務純益減少 前年度比△681百万円

信用コスト…前年度比△5,659百万円

◎貸倒実績率の低下等により一般貸倒引当金繰入額が減少(内訳は下記参照)

有価証券関係損益…前年度比△4,805百万円

国債等債券関係損益（前年度比△3,633百万円）

◎債券売却益の減少により国債等債券関係損益減少

株式等関係損益（前年度比△1,171百万円）

◎株式等売却益の減少により株式等関係損益減少

信用コストの減少等により経常利益は増益 前年度比+1,029百万円

特別損益…前年度比+795百万円

以上の結果、当期純利益は増益 前年度比+983百万円

【参考】信用コストの内訳

信用コスト(△)①+②-③-④	△1,909	△1,909
①一般貸倒引当金繰入額	△2,420	-
②不良債権処理額	1,666	221
うち個別貸倒引当金繰入額	1,445	-
③貸倒引当金戻入益	-	974
④償却債権取立益	1,156	1,156

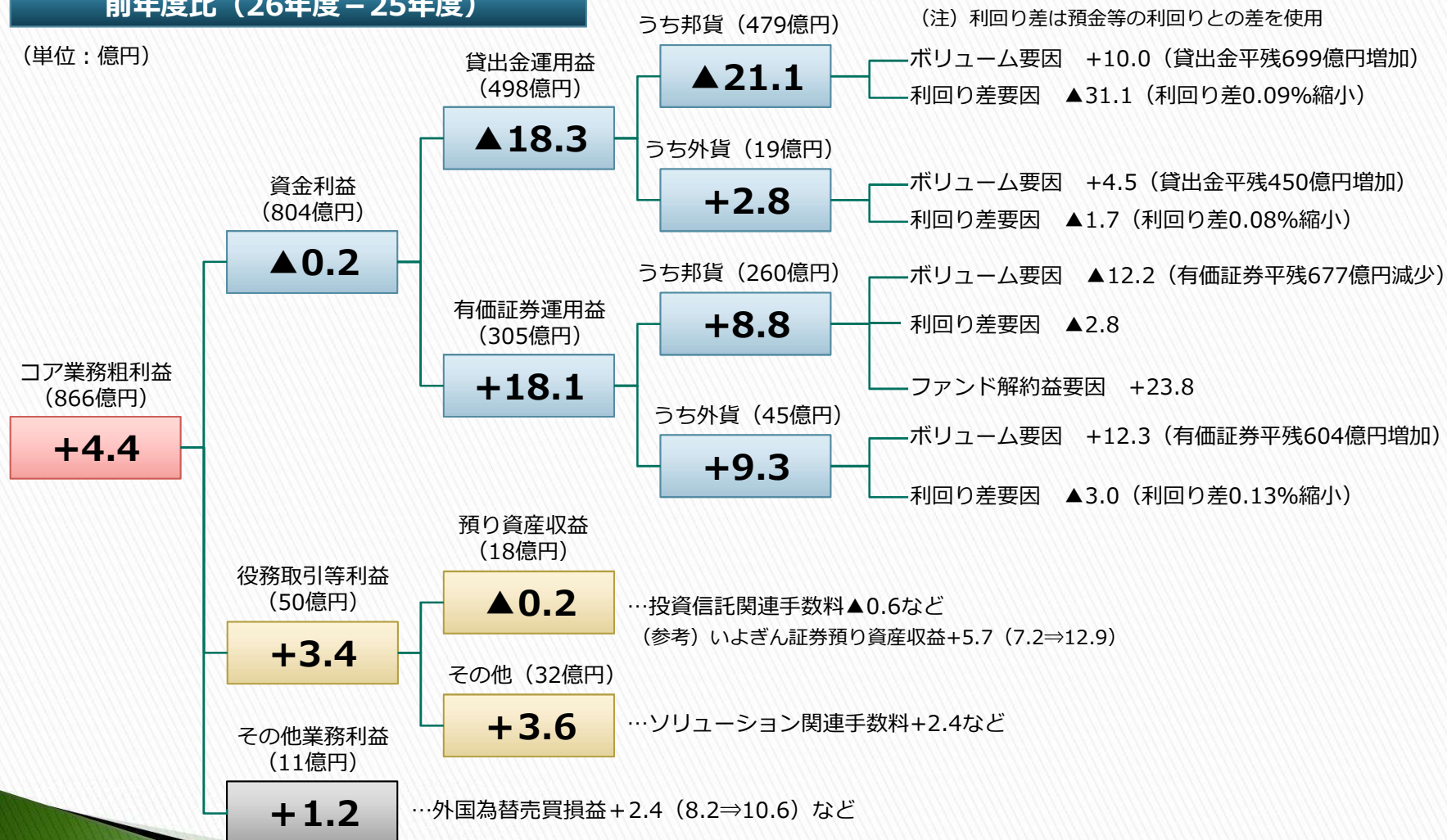
（注）一般貸倒引当金と個別貸倒引当金の繰入額合計が戻入となり、貸倒引当金戻入益を計上

コア業務粗利益の増減要因（26年度）

- 資金利益は、預貸金の利回り差縮小による減益要因を、貸出金のボリューム増加や有価証券のファンド解約益などによりカバー
- 役務取引等利益は、ソリューション関連手数料などが牽引し、前年度比で増益

前年度比（26年度－25年度）

（単位：億円）



預貸金・預り資産の状況

- 「預金等」は、前年度比1.3%増加、「貸出金」も、前年度比3.9%増加し、預貸金ともに18年連続の増加

預金等地区別残高推移

(単位：億円)

地域	25年度	26年度	前年度比	増減率
愛媛県内	40,700	41,656	+956	+2.3%
四国（除く愛媛県）	2,153	2,184	+32	+1.5%
九州	1,639	1,683	+44	+2.7%
中国	2,359	2,383	+25	+1.0%
近畿	1,171	1,136	△35	△3.0%
東京・名古屋	4,024	3,600	△423	△10.5%
海外等	114	174	+60	+53.2%
合計	52,158	52,817	+659	+1.3%

預り資産残高推移

(単位：億円)

	25年度	26年度	前年度比	増減率
グループ預り資産残高	4,370	4,639	+269	+6.2%
当行本体残高	3,747	3,576	△171	△4.5%
いよぎん証券残高	622	1,063	+441	+70.9%
グループ預り資産販売額	1,044	1,174	+130	+12.5%
当行本体販売額	677	626	△51	△7.5%
いよぎん証券販売額	367	548	+181	+49.3%

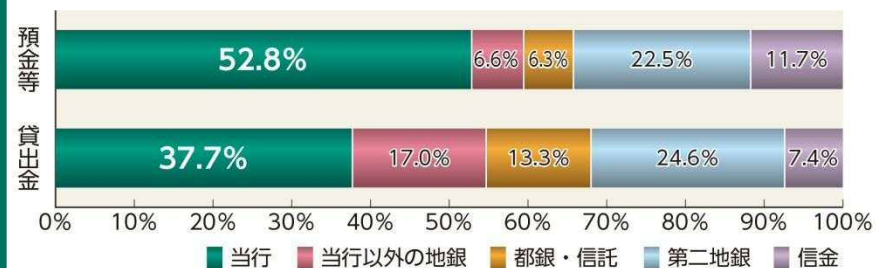
貸出金地区別残高推移

(単位：億円)

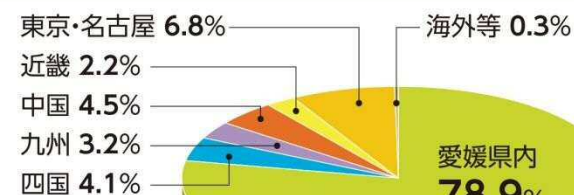
地域	25年度	26年度	前年度比	増減率
愛媛県内	21,872	22,246	+374	+1.7%
四国（除く愛媛県）	2,279	2,340	+60	+2.6%
九州	2,440	2,508	+68	+2.8%
中国	3,106	3,221	+114	+3.7%
近畿	2,564	2,763	+198	+7.7%
東京・名古屋	4,992	5,622	+630	+12.6%
合計	37,253	38,699	+1,446	+3.9%

※預貸金期末残高の内訳等は参考資料編14、15頁を参照

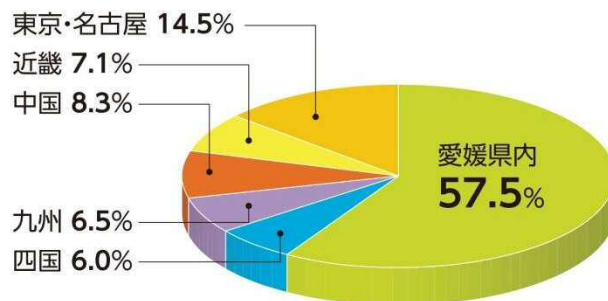
27年3月末愛媛県内シェア（除くゆうちょ・農協等）



預金等残高地区別構成比



貸出金残高地区別構成比



信用コストおよび開示不良債権の状況

- 引当率の低下による一般貸倒引当金繰入額の減少等を要因として、信用コストは前年度比で**大幅に減少**
- 開示不良債権比率は、**1.77%**と引き続き**低水準を維持**

要因別信用コスト推移

(単位：億円)

	23年度	24年度	25年度	26年度	前年度比
信用コスト合計	40	75	37	△19	△56
一般貸倒引当金繰入額	△32	△12	11	△24	△36
不良債権処理額	120	106	40	16	△23
倒産	12	24	3	5	+2
ランクダウン等	126	102	57	46	△10
ランクアップ・回収	△19	△21	△20	△35	△15
償却債権取立益 (△)	47	18	14	11	△3
与信費用比率 (※)	0.11%	0.21%	0.10%	△0.05%	△0.15P

(※) 与信費用比率 = 信用コスト ÷ 貸出金平残

金融再生法開示不良債権額・比率推移

(単位：億円)

	23年度	24年度	25年度	26年度	前年度比
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	96	108	66	38	△28
危険債権	525	531	519	502	△17
要管理債権	182	185	172	172	—
開示不良債権合計	804	825	758	713	△45
開示不良債権比率	2.18%	2.18%	1.96%	1.77%	△0.19P

有価証券評価損益および自己資本比率の状況

- 有価証券評価損益は、2,617億円と**地銀トップクラスの水準を維持**
- 連結総自己資本比率（国際統一基準）は、15.81%、（普通株式等）Tier1比率は、13.03%

有価証券評価損益（単体）の推移



連結（総）自己資本比率の推移



2012年度中期経営計画の目標達成状況

- 一時的な経費の増加やリスクアセットの増加により、若干目標未達となった項目もあるが、全体としては、ほぼ当初の目標を達成

＜達成すべき財務成果＞

項目	数値目標	24年度		25年度		26年度	
		当初目標	実績	当初目標	実績	当初目標	実績
持続的成長力	当期純利益	160億円	182億円	180億円	255億円	190億円	264億円
	コア業務純益	370億円	370億円	375億円	379億円	380億円	372億円
	総貸出金期末残高	3兆6,500億円	3兆6,490億円	3兆6,800億円	3兆7,253億円	3兆7,500億円	3兆8,699億円
	連結総預り資産残高 (注1)	5兆4,400億円	5兆5,741億円	5兆5,600億円	5兆6,528億円	5兆6,600億円	5兆7,457億円
収益力の維持向上	粗利益RORA (注2)	2.6%	2.6%	2.7%	2.5%	2.9%	2.6%
	連結非金利収益額 (注3)	250億円	254億円	255億円	267億円	260億円	286億円
生産性のさらなる向上	コアOHR	56.1%	56.2%	56.3%	55.9%	56.0%以下	56.9%
	連結自己資本比率 (注4)	12.3%	13.0%	14.4%	14.4%	14.0%以上	15.8%
健全性のさらなる向上	連結Tier1比率 (注5)	9.8%	9.5%	11.8%	11.2%	12.0%以上	13.0%
	不良債権比率	2.15%	2.18%	2.10%	1.96%	2.00%以下	1.77%

(注1) 連結総預り資産残高は「いよぎん証券」を含む

(注2) 粗利益RORA (Return on Risk Asset) : コア業務粗利益÷リスクアセット

(注3) 連結非金利収益額: 役務取引等収益 + その他業務収益 (除く債券関係)、原価・費用は控除していない

(注4,5) 連結自己資本比率、連結Tier1比率: いずれもバーゼルⅢベース